

名古屋大学加速器質量分析計を利用して行われた学部学生の卒業論文
及び大学院博士課程前期・後期の修了論文リスト

1997（平成9）年度

名古屋大学加速器質量分析計を利用して行われた学部学生の卒業論文及び
大学院博士課程前期・後期の修了論文リスト

大学院博士課程前期修了論文

愛宕 誠治（名古屋大学大学院文学研究科）
：網走川下流低地における完新世の地形発達

川瀬久美子（名古屋大学大学院文学研究科）
：矢作川下流低地における完新世後半の地形環境の変遷

伊藤 誠介（名古屋大学大学院人間情報学研究科）
：冬季の大気中メタン濃度増加の機構について —名古屋市域の大気中メタンの炭素同位体比から—

小林 淳（東京都立大学大学院理学研究科）
：箱根火山の最近5万年間の噴火史と地形発達史

仙頭 宣幸（北海道大学大学院地球環境科学研究科）
：コリマ川下流域におけるエドマの形成環境・形成時期

尾田 武文（東北大学大学院理学研究科）
：バイカル湖湖底堆積物柱状試料を用いた花粉分析 —最終氷期以降の植生変遷—

星野 耕一（東北大学大学院理学研究科）
：堆積物中の全有機炭素・全窒素安定同位体比による環境解析
—バイカル湖と日本海の第四紀後期環境変動—

佐々木愛郎（東北大学大学院理学研究科）
：大気中メタンの炭素同位体比の測定

高橋 秀一（静岡大学大学院理工学研究科）
：鹿児島県喜界島陸産貝類の¹⁴C濃度異常について

丹地 千鶴（東北大学大学院理学研究科）
：バイカル湖湖底堆積物の有機地球化学的研究

大学院博士課程後期修了論文

大平 明夫（名古屋大学大学院文学研究科）
：完新世における海岸沖積低地の地形形成環境の変遷に関する研究

森泉 純（名古屋大学大学院工学研究科）
：炭素同位体比および大気中ラドンを用いた大気中メタン放出の地域的評価

堀内 一穂（東北大学大学院地圏環境研究科）
：湖底堆積物に基づくバイカル湖及び周辺域の第四紀後期環境変動の解明

ワヒュディ（北海道大学大学院地球環境科学研究科）
：Last glacial Holocene paleoenvironmental changes of the Okinawa Trough in the East China Sea and the Ryukyu Fore Arc region in the northwest Pacific